

アラウンド・ザ・ワールド 2

Around the World

第122回

アセット・インテンシブ再保険による価値の最大化

アラウンド・ザ・ワールド Part 2 の122回目は、アセット・インテンシブ再保険を取り上げる。欧州のトレンドが示唆すること（RGA再保険会社提供）

アセット・インテンシブ再保険はもはやニッチなソリューションではなくなり、保険会社の資本、リスク、成長の管理手法に再定義をもちたらしめている。フランスシートの最適化が戦略上不可欠な取り組みとなる中、法人買収や共同保険式再保険、修正共同保険式再保険、サイドカーの仕組みを理解することが非常に重要となる。選定されたソリューションがうまく機能するには、その仕組みが強固なモデリング、ガバナンス、法規制対応計画を伴い、保険会社の長期的な経営目標と整合的であることが求められる。知見に富む再保険パートナーを早期に開与させることで、保険会社は複雑性を乗り越え、意図せぬ結果を回避しつつ、資本

法人買収

売手から買手へ法人を完全に売却し、事業、資産、負債を移転。①課題…法人買収は、本格的なデューデリジェンスを要し、法的費用が掛かる。のれん代や簿外負債等が価格に影響する。②法規制上の留意点…規制当局は将来の所有権に対する意図やコミットメントに着目し、明確な文書化や戦略的意義を求める。③事例…中規模生命保険会社が、保険金請求の変動性増大と低収益性を理由にノンコア事業からの撤退を決定。契約群の個別出再ではなく、全ての商品種目を扱う法人全体をグローバルな再保険会社へ売却。その結果、元受

共同保険式再保険

資産と負債が再保険会社へ移転。通常、信託口座

を有する保険会社が新商品開発のため、資本のリリースを模索した。同社は再保険会社と共同保険式再保険を締結し、負債も負債対応資産も移転。再保険会社は、資産運用の専門性を生かしリターンの最適化。元受保険会社は、会計・法規制上の扱いを簡素化し、再保険会社は自社の投資戦略と適合した長期デュレシ

複雑な時代における戦略的パートナーシップの力

修正共同保険式再保険

元受保険会社は、負債と投資リスクを移転する一方、資産の法的所有権を維持。①課題…再保険会社にとって資産運用の柔軟性が減少。両当事者において二重の会計、法規制対応ニーズに耐え得る強固な体制が必要に。②法規制上の留意点…資産運用の管理、支払不能シナリオでの担保へのアクセスが重要。当局は透明性と強固なガバナンス体制を求めることが多い。③事例…

サイドカーによる代替資本へのアクセス

特別目的会社（SPV）への出再により、第三者資本へアクセス。①課題…設立、保守の費用が高く、相応のビジネス規模が必要。②法規制上の留意点…適切なリスク移転と資本の長期的健全性が不可欠。ファイナンスへの規制当局の関心、当局監督の厳格化に対する保険会社の対応が大陸ヨーロッパ全域で進む中、アセット・インテ

市場トレンドおよび地域的な知見

死亡保障、保証付貯蓄性商品からなる多様な契約群の移転について評価を行った。開発されたソリューションは、共同保険式再保険とサープラスリリーの要素を併せ持ち、資本負担の軽減と保険会社の戦略的柔軟性の強化を目指す保険会社にとって実証済みのツールだといえる。その執行の可否は、保険会社が自社のバランスシートやリスクアペタイト、商品戦略、将来の成長計画と、各種再保険ソリューションが相互に及ぼす影響を評価し、経営目標と整合的な取引を設計できるか否かにかかっている。

最近の二つの事例

このような変化は弊社が関与した案件でも見られた。直近の事例では、欧州の複数の大手保険会社から、年金保険、保障性商品、長期デュレシ

トレンドが示唆すること

こうした事例は、大きな潮流を反映している。大陸ヨーロッパの保険会社は、高度な分析力、業務遂行能力、複数法域における事業経験を有するパートナーをより一層重視している。広範な再保険ソリューションの経験、保険会社個々の戦略上あるいは資本の目標に適したアプローチをオーダーメイドで提案する能力がなければ、バランスシートの強化と複雑な環境下で競争力維持を目指す

す、欧州保険会社の信頼できるパートナーにはなり得ないだろう。

まとめ

アセット・インテンシブ再保険は、資本の最適化、リスク管理、長期的な財務レジリエンスの強化を目指す保険会社にとって実証済みのツールだといえる。その執行の可否は、保険会社が自社のバランスシートやリスクアペタイト、商品戦略、将来の成長計画と、各種再保険ソリューションが相互に及ぼす影響を評価し、経営目標と整合的な取引を設計できるか否かにかかっている。



シェパード氏



佐藤氏

執筆者

RGA ヴァイス・プレジデントヘッド・オブ・クライアント・エンゲージメント&マーケット・ディベロップメント・中央ヨーロッパ地域

ブライス・シェパード

日本語訳

RGA リンシユアランスカンパニー日本支店 通訳

山本あゆみ

日本語監修

RGA ヴァイス・プレジデントコーポレート・ディベロップメント・アジア太平洋地域

佐藤 寛之

このように変化は弊社が関与した案件でも見られた。直近の事例では、欧州の複数の大手保険会社から、年金保険、保障性商品、長期デュレシ

こうした事例は、大きな潮流を反映している。大陸ヨーロッパの保険会社は、高度な分析力、業務遂行能力、複数法域における事業経験を有するパートナーをより一層重視している。広範な再保険ソリューションの経験、保険会社個々の戦略上あるいは資本の目標に適したアプローチをオーダーメイドで提案する能力がなければ、バランスシートの強化と複雑な環境下で競争力維持を目指す

【佐藤氏のプロフィール】上智大学(外国語学部)を卒業し、ジョンズ・ホプキンス大学で国際経済学修士号を取得。野村證券で15年以上にわたる国内外の金融法人向け投資銀行業務に従事、2025年7月RGA入社。